



リリースノート(参考資料)

AdRem NetCrunch 7

AdRem NetCrunch 7 リリースノート

NetCrunch は AdRem Software が開発し所有する監視ソフトウェアである。
株式会社情報工房は日本における総販売代理店である。

©2015 Johokobo, Inc.

目次

1. 本資料について	3
2. NETCRUNCH 7 の新機能/変更点/修正点	3
2.1. バージョン 7.4.1.2916	3
2.2. バージョン 7.4.2.2918	4
2.3. バージョン 7.4.2.2920	4
2.4. バージョン 7.4.3.2921	4
3. 既知の問題	5
3.1. レポートの文字化け	5
3.2. NETCRUNCH 6 からのアップグレードに関する問題	5
3.3. その他	6

1. 本資料について

本資料では、AdRem NetCrunch バージョン 7.4.3.2921 日本語版（以下 7）について記載しております。

2. NetCrunch 7 の新機能/変更点/修正点

NetCrunch 7 での新機能、変更点、修正点について記載いたします。

2.1. バージョン 7.4.1.2916

- GUI の刷新
- ダッシュボード表示を追加
- Active Directory をサポート
- 下記の監視機能の追加
 - ・NetFlow Monitor
 - ・VMware ESX Monitor
 - ・Switch Traffic Monitor
 - ・Apache Server Monitor
 - ・NetCrunch Open Monitor
- モバイル用(スマートフォン、タブレット PC 向け)コンソールを追加
- 監視依存関係の自動生成機能を追加
- 監視ポリシーを監視パックに変更
- インタフェーストラフィックのグラフィックを追加
- 新しい SMS コンポーネント - PIN コードを入力して外部の GSM デバイスに SMS を送信可能
- 外部の SMTP サーバーへのメール送信に、TLS 暗号化をサポート
- SNMP v3 暗号化 (DES、3DES、AES 128、AES 192、AES 256 keys) をサポート
- トレンドエクスポートに SQL Server 2008/2012 をサポート
- Windows と ESX/ESXi マシンの自動検出を追加
- デバイスタイプの設定ウィザードを追加
- トレンドビューアでの詳細表示 (1 分間隔での表示) を追加
- Linux、BSD、Mac OS X の監視に sudo をサポート
- 下記の機能の削除
 - ・NetWare エージェントレス監視
 - ・Jabber/ICQ/pager 通知機能
 - ・物理的セグメントマップの静的ブリッジオプション
 - ・マップのグループ化オプション

- ・監視の最適化機能
- ・自動検出の検出条件オプション
- NetCrunch オプションの内容を一部変更
- NetCrunch サーバーの自動再起動を追加
- デスクトップ通知ウィンドウの表示にオプションを追加
- イベントログの情報欄がメッセージ欄に変更
⇒これにともない、メールのメッセージ変換フォーマットのパラメータ「\$Common.AlertInfo」の内容も変更されている。

2.2.バージョン 7.4.2.2918

以下の問題を修正：

- NetCrunch を再起動後、VMware ESX/ESXi 監視、Apache サーバー監視、NetCrunch Open Monitor の機能において、データを収集できなくなることがある。
- SNMP 変数の設定について、アクションが実行されるたびに変数を設定する回数が増加する。また、アクションの内容を変更した場合などには、アクション実行時に過去に設定したアクションも実行される。
- ノードの右クリックから WMI ツールを起動した場合、認証情報の再入力が必要な場合がある。
- デモレポートにおいて一部の表示が文字化けする。
- トレンドビューアの週単位表示にて、前の週や次の週を表示すると土曜日が表示されなくなる。

2.3.バージョン 7.4.2.2920

以下の問題を修正：

- マップのレイアウトを<編集済みカスタムマップ>からデバイスやステータスなどの他のレイアウトを表示し、再度<編集済みカスタムマップ>を表示すると、編集したマップが表示されなくなる。

2.4.バージョン 7.4.3.2921

以下の問題を修正：

- Web アクセスを利用できない場合がある。

3. 既知の問題

NetCrunch 7 での既知の問題について記載いたします。

3.1. レポートの文字化け

レポートを生成するマシンと閲覧するマシンの Windows のフォント環境が異なる場合、レポートに文字化けが発生します。Windows のフォント環境としては、主に Windows Server 2003 や Windows XP にて使用されている JIS90 と、主に Windows Server 2008/2012 や Windows Vista/7/8/8.1 にて使用されている JIS2004 がございます。

JIS2004 につきましては下記サイトをご参照ください。

Microsoft のサポートソース(フォント環境(JIS2004)について) :

http://www.microsoft.com/japan/windows/products/windowsvista/jp_font/jis04/default.mspx

なお、JIS90 のフォントパッケージも用意されておりますが、JIS2004 環境にインストールしましてもフォント環境を JIS90 に統一することができず、レポートの文字化けは解消されません。

また、スマートフォンなどにおいても、フォント環境が異なる場合には文字化けが発生する場合がございます。

3.2. NetCrunch 6 からのアップグレードに関する問題

■ Windows エージェントレス監視の認証情報

NetCrunch 6 にてノードの監視プロパティに Windows の認証情報(ユーザー、パスワード)を設定している場合、ドメイン環境上で稼働する NetCrunch 7 に認証情報は継承されません。アップグレード前に設定を控えていただき、アップグレード後、再度認証情報を入力していただきますようお願いいたします。

この問題は、同一サーバー上でのアップグレードだけでなく、他のサーバー上の NetCrunch 7 に NetCrunch 6 のアトラスをインポートした場合にも発生いたします。

ワークグループ環境にて NetCrunch 7 を稼働する場合、NetCrunch 6 にて設定した Windows の認証情報は継承されますが、念のためアップグレード前に設定を控えることを推奨いたします。

3.3.その他

- アトラスが各国言語版の Windows から英語版の Windows に転送されたとき、イベントデータベースは間違ったコードページが使用される。
- Web アクセスからイベントログに対して所有者を割り当てるができない。
- アドミネストレーションコンソールが接続するポート番号を他の機能で使用しているポートに変更した場合、NetCrunch サーバーに接続できなくなる。
- トレンドビューアで線の色を変更した後、マウスのホイールを利用して、スクロールすると、意図しない色に変更される。
- ノードのプロパティ(ノードを右クリック→[ノードの設定])にて新規のカスタムフィールドを追加して編集を行い、プロパティを再度開くと、編集済みの新規のカスタムフィールドが消えることがある。
- マップのレイアウトを編集後、[編集]ボタンから[いいえ]を選択し、アドミネストレーションコンソールを再起動した場合に、マップのレイアウトが崩れる場合がある。
回避方法: マップのレイアウトを編集する前に、ビジュアルマップの共有を有効化する。
- レポートの送信先にユーザーを複数設定している状態にて、ユーザーをひとつ削除しようとした場合、意図しないユーザーが削除される。
対処方法: 全てのユーザーを一旦削除し、必要なユーザーを再度追加する。
- 定義済みレポートに表示される折れ線グラフにおいて、グラフ上の線の色とグラフ外にあるインスタンスを示す線の色が異なる。